

10 教育費 1 教育総務費 1 教育委員会費

① 教育委員会運営費（教育総務課）

1 教育委員会の開催（11回開催）

《取扱議案》

- (1) 平成25年度向日市の教育（指導の重点）について
- (2) 向日市立学校の校長・教頭の人事異動の内申について
- (3) 向日市文化財保護審議会委員の任命について
- (4) 向日市学校評議員の委嘱について
- (5) 向日市社会教育委員の委嘱について
- (6) 向日市教育委員会事務局職員の人事異動について
- (7) 平成26年度使用小中学校教科用図書の採択について
- (8) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- (9) 字の区域の変更に伴う向日市立小学校及び中学校の通学区域並びに就学すべき学校の指定に関する規則の一部改正について

10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

② 事務局運営費（学校教育課）

1 適応指導教室の設置

市内の不登校の児童生徒を対象に教育相談に応じたり、集団への適応力を培うための指導を行い、児童生徒の主体性、自発性を育成し、早期に学校へ復帰できるよう、適応指導教室「ひまわり広場」を設置した。

2 教育相談事業の充実（平成25年度主要事業）

小中学生の保護者等を対象に来所教育相談（天文館、市役所等）や電話教育相談、学校への巡回教育相談や家庭訪問による教育相談を実施した。開設日などの拡大を図り、相談件数の増加や継続的な相談に対応した。

- ・来所教育相談件数（延べ246件）、電話相談件数（延べ46件）
- ・学校への巡回教育相談件数（9校で42回 延べ167件）
- ・家庭訪問による教育相談件数（延べ79件）

10 教育費 1 教育総務費 3 幼児教育振興費

① 幼稚園就園奨励費（教育総務課）

1 私立幼稚園就園奨励費補助事業（国庫補助事業）

補助の範囲	補助対象数	補助金額
生活保護法の規定による保護を受けている世帯	0 人	0 円
市民税非課税世帯	51	10,955,100
市民税所得割非課税世帯	2	534,000
市民税所得割課税額が 77,100円以下の世帯	110	15,132,600
市民税所得割課税額が211,200円以下の世帯	464	41,398,100
合計	627	68,019,800

2 私立幼稚園児教材費補助事業（1人当たり補助金額40,800円）

	対象者数	補助金額
満3歳児	19 人	775,200 円
3歳児	234	9,547,200
4歳児	268	10,934,400
5歳児	321	13,096,800
合計	842	34,353,600

3 私立幼稚園設備費補助金 540,000 円（1園当たり 180,000円）

4 乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 195,000 円（1園当たり 65,000円）

5 私立幼稚園特別支援教育振興補助金

補助の範囲	1人当たり補助金額	補助対象数	補助金額
障がい児が3人以上在園している場合	98,000 円	4 人	392,000 円
障がい児が2人以下在園している場合	49,000 円	4 人	196,000 円
合計		8 人	588,000 円

10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

② 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 小学校登下校交通安全事業（平成25年度主要事業）

通学路の危険箇所33か所に交通指導員を配置し、交通安全指導を実施、更に「交通安全反射電柱幕」を電柱等に設置した。

また、向日町警察署等の協力を得て、交通教室を開催するなど、交通道徳の高揚に努めるとともに、1年全児童に「緊急用笛」を配布するなど安全対策に努めた。

3 就学指導委員会

(1) 目的

本市立小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童及び生徒について、障がい等に配慮した適切な就学について協議し、相談指導を行った。

(2) 委員構成 (24人)

市立小中学校教職員	9人	医師	1人
市立保育所職員	4	保健師	1
特別支援教育専門職	4	教育委員会事務局職員	2
市内幼稚園教職員	3		

(3) 相談指導件数 78件

③ 学校給食管理費 (学校教育課)

1 学校給食 平成25年5月1日現在

学校名	給食実施児童数
向陽小学校	569人
第2向陽小学校	567
第3向陽小学校	429
第4向陽小学校	554
第5向陽小学校	591
第6向陽小学校	410
計	3,120

給食の方式・・・単独校調理場方式 給食の型・・・完全給食週5日制 米飯給食・・・週3.5回

2 衛生管理

- (1) 給食室ねずみ害虫駆除業務委託
- (2) 給食室排水桝清掃業務委託

3 給食備品の整備

フードスライサー、冷凍冷蔵庫、エアーカーテン、給湯器等給食備品の配備

4 給食設備保守点検

給食機器保守点検業務委託

5 食中毒防止対策

- (1) 栄養士等給食関係従事者の検便検査の実施
- (2) 食材検査の実施

6 学校給食調理業務委託

学校給食調理業務委託実施 (全小学校)

④ 健康管理費（学校教育課）

- 1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）
- 2 1年生児童に心電図検査を実施
- 3 結核健診精密検査、ぎょう虫検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 小学校就学予定者を対象とする就学時健康診断の実施
- 6 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施

⑤ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑥ 学校施設管理費（教育総務課）

1 小学校施設修繕等

- ・小学校職員室にLED照明導入（平成25年度主要事業）

2 施設保守管理業務委託等

- | | | | |
|--------------------|-------------|----------------------|-------------|
| (1) 便器清掃業務 | (全校) | (13) 南校舎耐震補強及び | |
| (2) 除草他業務 | (向小・4向小) | 空調整備等改修工事監理業務 | (3向小) |
| (3) 学校管理業務 | (全校) | (14) ガスヒーポン保守点検業務 | (全校) |
| (4) 機械警備業務 | (全校) | (15) 消防用設備等保守点検業務 | (全校) |
| (5) 校庭整備（樹木剪定等）業務 | (全校) | (16) 放送設備点検業務 | (全校) |
| (6) 樹木消毒業務 | (全校) | (17) 自家用電気工作物保安全管理業務 | (全校) |
| (7) 排水管清掃業務 | (4向小) | (18) 受水槽・高架水槽清掃点検業務 | |
| (8) 給食排気ファン清掃業務 | (全校) | | (4向小を除く全校) |
| (9) 空気調和設備整備監理業務 | (5・6向小) | (19) 運動施設遊具保守点検業務 | (全校) |
| (10) 体育館耐震補強実施設計業務 | | (20) シャッター等保守点検業務 | (全校) |
| | (2・3・4・5向小) | (21) 給水設備器具保守点検業務 | (全校) |
| (11) 空調及び耐震等設計修正業務 | | (22) 給食用リフト保守点検業務 | |
| | (向小・4向小) | | (3・4・5・6向小) |
| (12) 北校舎耐震補強及び | | (23) プールろ過装置保守点検業務 | (全校) |
| 空調整備等改修工事監理業務 | (2向小) | (24) エレベーター保守点検業務 | (向小) |

3 小学校施設整備工事

(1) 向陽小学校

- ・特別支援教室改修工事

(2) 第2向陽小学校

- ・北校舎耐震補強及び空調整備等改修工事（平成25年度主要事業）
- ・北校舎外部階段防砂・防災ネット取付工事

- (3) 第3向陽小学校
 - ・南校舎耐震補強及び空調整備等改修工事（平成25年度主要事業）
- (4) 第5向陽小学校
 - ・空調和設備整備工事（第2期）（平成25年度主要事業）
- (5) 第6向陽小学校
 - ・空調和設備整備工事（第2期）（平成25年度主要事業）

10教育費 2小学校費 2教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業（平成25年度主要事業）

児童一人ひとりの障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導支援を行い、学習及び発達の保障に努めた。特別支援教育支援員の配置時間を拡大し、よりきめ細やかな支援を行った。また、第3向陽小学校と第6向陽小学校に加え、第5向陽小学校に通級指導教室を新設するとともに、通級指導教室の充実に努めた。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	数字パズル、たし算ひき算学習ボード、手すき紙づくりセット
第2向陽小学校	トランポリン
第3向陽小学校	ブロック、くだもの・やさい模型セット
第4向陽小学校	手先訓練用2センチカラー立方体、カラービーズ
第5向陽小学校	バランス平均台、ブロック
第6向陽小学校	ボール投的板、ソフトボーリングセット

3 通級指導教室用教材備品購入

主 な 購 入 備 品 名
知能検査機、構音検査セット、発音練習用カード、タイムタイマー、分数パズル

4 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	5人	49,750円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	48	297,343
校外活動費（宿泊を伴うもの）	14	14,726
修学旅行費	7	111,506
給食費	48	1,012,149
合 計		1,485,474

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	平成25年度末蔵書冊数
向陽小学校	558 冊	196 冊	50 冊	10,763 冊
第2向陽小学校	601	66	400	11,677
第3向陽小学校	547	160	20	8,741
第4向陽小学校	585	98	300	10,978
第5向陽小学校	507	62	400	11,240
第6向陽小学校	471	64	400	9,221
計	3,269	646	1,570	62,620

※ 購入冊数には、ふるさと納税寄附等による購入分672冊含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主な購入備品名
向陽小学校	走り高跳びスタンド、ライン引き、ミシン、CDラジカセ、コンガ、スチームアイロン
第2向陽小学校	フットサル・ハンドゴールネット、心臓と血液循環模型、電子オルガン、マイク
第3向陽小学校	審判台、地球儀、オープンレンジ、電子計量器、ガスコンロ、ミシン
第4向陽小学校	スィムボード、とび箱、直流電源装置、ピアノ専用椅子、罫ベース、ガスコンロ
第5向陽小学校	ステンレス製両手鍋、地球儀、まな板、ライン引き
第6向陽小学校	線・点対象説明教具、ウィンドチャイム、オープンレンジ、サッカーゴールネット

3 要保護・準要保護児童援助費

経済的理由により就学が困難と認められる児童に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	46 人	915,400 円
学用品費等	371	5,232,866
校外活動費（宿泊を伴うもの）	64	123,406
修学旅行費	78	1,193,840
通学費	3	76,540
給食費	374	15,759,580
医療費	51	336,559
合 計		23,638,191

③ ひまわり教育費（学校教育課）

児童の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。また、社会人講師の導入を図った。

1 特色ある学校づくり支援事業（平成25年度主要事業）

児童の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員・保護者を対象とした講演会及び研修会を実施した。

2 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、児童の豊かな人間性や社会性を育成した。

「KYO発見仕事・文化体験活動」推進事業

3 文化芸術活動

児童の創造活動を通して豊かな情操を養うために、小学生夏休み作品展を開催した。

10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

② 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 1 年生生徒に「防犯ブザー」を配布するなど、不審者対策に努めた。

③ 健康管理費（学校教育課）

生徒及び教職員の健康保持・増進に努めるとともに、保健安全教育を実施した。

1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）

2 1 年生生徒に心電図検査を実施

3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施

4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出

5 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施

④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑤ 学校施設管理費（教育総務課）

1 中学校施設修繕等

・中学校職員室にLED照明導入（平成25年度主要事業）

2 施設保守管理業務委託等

(1) 便器清掃業務	(全校)	(11) 倉庫改築工事監理業務	(寺戸中)
(2) 除草他業務	(勝山中)	(12) ガスヒーポン保守点検業務	(全校)
(3) 学校管理業務	(全校)	(13) 消防用設備等保守点検業務	(全校)
(4) 機械警備業務	(全校)	(14) 放送設備点検業務	(全校)
(5) 校庭整備（樹木剪定等）業務	(西ノ岡・寺戸中)	(15) 自家用電気工作物保安管理業務	(全校)
		(16) 受水槽・高架水槽清掃点検業務	(全校)
(6) 樹木消毒業務	(全校)	(17) 運動施設遊具保守点検業務	(全校)
(7) 武道場新築及び体育館耐震補強工事監理業務	(西ノ岡中)	(18) シャッター等保守点検業務	(全校)
		(19) 給水設備器具保守点検業務	(全校)
(8) 南校舎耐震補強設計監理業務	(西ノ岡中)	(20) 浄化槽維持管理業務	(勝山中)
(9) 外壁改修設計監理業務	(西ノ岡中)	(21) プールろ過装置保守点検業務	
(10) 公共下水道接続工事設計業務	(勝山中)		(西ノ岡中・寺戸中)

3 中学校施設整備工事

(1) 西ノ岡中学校

・武道場新築及び体育館耐震補強工事（第2期）（平成25年度主要事業）

・南校舎耐震補強工事（平成25年度主要事業）・体育館外壁等改修工事

(2) 寺戸中学校

・倉庫改築工事

10 教育費 3 中学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業（平成25年度主要事業）

生徒一人ひとりの障がいの状態と発達の状態を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導支援を行い、学習及び発達の保障に努めた。特別支援教育支援員を配置し、よりきめ細やかな支援を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	日本地図パズル、オカリナ、漢字パズル
西ノ岡中学校	カラー竹馬、ホッピング、ボール、時計模型
寺戸中学校	液晶テレビ、姿勢維持用クッション

3 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	2 人	22,900 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	12	143,280
修学旅行費	5	317,858
合 計		484,038

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書の整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	平成25年度末蔵書冊数
勝山中学校	615 冊	21 冊	400 冊	17,248 冊
西ノ岡中学校	450	49	400	10,736
寺戸中学校	550	37	150	12,278
計	1,615	107	950	40,262

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	液晶テレビ、電子てんびん、水圧実験器セット、検流計、ハードル
西ノ岡中学校	フットサル・ハンドボールゴールネット、電子てんびん、検流計、バスケット用リング
寺戸中学校	液晶テレビ、ソフトボール用グローブ、移動式ホワイトボード、中学校音楽鑑賞DVD

3 吹奏クラブの充実を図るための楽器等の購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	クラリネット、スネアドラム、サスペンドシンバル、カウベル、メトロノーム
西ノ岡中学校	アルトサクソフォン、トランペット

4 要保護・準要保護生徒援助費

経済的理由により就学が困難と認められる生徒に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	66 人	1,511,400 円
学用品費等	229	5,737,516
校外活動費（宿泊を伴うもの）	33	115,095
修学旅行費	84	4,637,796
通学費	1	82,860
医療費	28	141,882
体育実技用具費（柔道）	40	176,300
合 計		12,402,849

5 文化芸術活動

弁論大会、英語スピーチ大会及び中学生美術展・書道展・剪画特別展を開催し、生徒の発表の場を設けるとともに教科学習の活性化を図った。

6 府の委託事業

「学力向上システム開発校」
指定校 勝山中学校

③ ひまわり教育費（学校教育課）

生徒の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

また、授業やクラブ活動に対して、社会人講師の導入を図った。

1 特色ある学校づくり支援事業（平成25年度主要事業）

生徒の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員・保護者を対象とした講演会及び研修会を実施した。

2 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、生徒の豊かな人間性や社会性を育成した。

「KYO発見仕事・文化体験活動」推進事業

3 マーチングバンド備品購入

寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部用に楽器等を購入した。

主 な 購 入 備 品 名
ホルン、トランペット

10教育費 4社会教育費 1社会教育総務費

② 社会教育委員費（生涯学習課）

1 社会教育委員 12人（男7人、女5人） ※平成25年4月1日現在

2 社会教育委員の会議

	開催日・会場	内 容
1	5月22日(水) 午後1時30分～3時20分 市役所 大会議室	・役員の選任について ・平成25年度社会教育関係事業計画について ・平成25年度社会教育委員関係事業計画について
2	8月21日(水) 午後2時～3時30分 市役所 第6会議室	・平成25年度社会教育関係団体に対する補助金の交付、計画について ・平成25年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告について ・平成25年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会・研修会参加報告について
3	10月31日(木) 午後1時～3時15分 市役所 第6会議室	・研修 調査発掘物等及びバーチャル長岡京3Dシステム等の見学、説明 ・平成25年度近畿地区社会教育研究大会参加報告について ・連絡事項 平成25年度京都府社会教育研究大会について
4	2月20日(木) 午後1時30分～3時30分 市役所 大会議室	・平成26年度社会教育関係団体等への補助金（予算案）について ・平成25年度社会教育関係事業報告について ・平成26年度社会教育の重点（案）について

3 各種研修会・大会

研修会・大会	期 日	会 場	参加人数
京都府社会教育委員連絡協議会 総会	6月13日(木) 午後1時30分～4時30分	向日市民会館	9人
乙訓社会教育委員等連絡協議会 総会・研修会	6月13日(木) 午前10時30分～11時30分	向日市民会館	8人
近畿地区社会教育研究大会 「和歌山大会」	9月5日(木) 午前10時10分～午後3時30分	和歌山県文化会館	7人
京都府社会教育研究大会	11月28日(木) 午前11時～午後3時30分	南丹市美山文化ホール	8人

③ 社会教育活動費（生涯学習課）

1 生涯学習

(1) 向日市生涯学習「人材ほっとバンク」

さまざまな知識や技能など、自らの学習成果を市民の学習活動に役立てたいという熱意をもった方や団体に指導者として登録していただき、学びたいと希望されている市民に指導者を紹介した。

(2) 生涯学習推進サークル「まなぼうや」の活動支援

生涯学習の推進に取り組むボランティアサークルの活動について、各種講座が円滑に開催されるように、広報活動等の支援を行った。（合計18講座）

(3) 生涯学習情報紙の発行

市などが開催する生涯学習関連事業をより多くの市民に広報するため、生涯学習情報（前期・後期）及び子ども向けの夏休み特集の情報紙を年間計3回発行した。

2 人権教育

人権研修会の開催

人権問題の正しい理解と認識を深め、市民の人権意識の高揚を図るため、研修会を2回開催した。

	開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
1	12月14日(土) 午前10時～ 11時30分	市民会館 第1会議室	講演 「インターネットと人権」	京都ノートルダム女子大学 神月 紀輔さん	25 人
2	3月18日(火) 午前10時～ 11時30分	市民会館 第1会議室	講演 「いじめの悲劇を繰り返さないため に：家庭・地域も子どもを守る」	大阪教育大学 戸田 有一さん	20 人

3 各種講座・研修会

(1) 学校支援ボランティア交流講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
11月27日(水) 午前10時～ 正午	市民会館 第1会議室	講演 「こんな時 子どもはステキに育 つ～はぐくもう『自尊感情』～」	大阪教育大学 園田 雅春さん	20 人

(2) 学校支援ボランティア養成講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
11月29日(金) 午前10時～ 正午	市民会館 第2会議室	講演 「かんたんに始められる集団遊び -子どもたちのコミュニケーション 力を伸ばすために-」	京都府レクリエー ション協会	9 人

(3) 家庭教育講座の開催

開催日	会場	内 容	講 師	参加人数
10月19日(土) 午前10時～ 正午	市民会館 第1会議室	講演 「子ども達が心豊かな人生を送る ために」	京都府警察本部 少年サポートセンター 堤 勇一郎さん	42 人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

・市立小中学校のPTA（9校）

180,000円

④ 青少年健全育成費（生涯学習課）

1 健全育成事業

(1) ジュニア・リーダー養成講座

ア 実施日及び内容

実施日	内 容	会 場
6月16日(日)	開講式、班分け、集団ゲームほか	市民会館第5会議室
7月28日(日)	モノ作り	市民会館第5会議室
9月1日(日)	飯ごう炊さん	第6向陽小学校 野外炊飯施設
11月24日(日)	ハイキング	大山崎町 天王山
12月15日(日)	調理実習、ゲーム	市民会館第5会議室・調理実習室
2月2日(日)	スポーツ大会	向陽小学校 体育館
3月2日(日)	閉講式	寺戸公民館 大会議室

イ 参加者 市内の小学5、6年生 21人
市内の中学生 2人

(2) 京のまなび教室推進事業（放課後児童サポート事業）（平成25年度主要事業）

全学年の児童が一斉に下校することにより、児童を極力一人にさせない下校を確保し、特に、低学年児童の安全確保を第一に考え、授業終了時刻から下校時刻までの時間に、低学年児童が学校で友達と自由に遊びながら、体力づくりや仲間づくりをすることによって、心身ともに健康な児童を育てるよう実施した。

平成25年度はサポーターの増員を行い、活動内容の充実と安全の確保を図った。

ア 開催回数 実施回数 140回

イ 会場 市内全小学校

ウ 内容 グラウンド・体育館での自由遊び、図書館での読み聞かせ、特別講師によるプログラムなど

エ サポーター 遊び・学習サポーター、安全サポーター

オ 対象者 1～2年生児童

(3) 学校支援地域本部事業（平成25年度主要事業）

実行委員会を中心として、地域住民や保護者、地域ボランティアなどの知識や経験、能力、技術を子どもの成長や学校の教育に生かせるようコーディネートし、地域全体で子どもが健やかに育まれる環境づくりと地域の教育力の向上を目指して実施した。

平成25年度は、新たに西ノ岡中学校で事業に取り組んだ。

ア 実施場所 第2向陽小学校、第3向陽小学校、西ノ岡中学校

イ 実行委員会 33人（男15人、女18人）

ウ 内容 学習支援活動、部活動指導、読書活動支援、環境整備など

(4) 野外炊飯施設使用状況

使用回数 (単位：回)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	2	3	2	2	—	2	—	3	—	1	—	—	15

(5) 青少年健全育成市民ふれあいコンサート

ア 実施日 平成26年3月21日（金・祝）

イ 出演団体 勝山中学校吹奏楽部
西ノ岡中学校吹奏楽部
寺戸中学校吹奏楽部、マーチングバンド部
京都府立向陽高等学校吹奏楽部
京都西山高等学校吹奏楽部
ARTY BEARS

2 関係団体との連携活動

(1) 健全育成活動

少年補導委員会、PTA等の関係団体とともに補導パトロールを実施し、青少年健全育成活動に努めた。

主な取組

実施日	内 容
学校の長期休業日	地区ごとに夜間パトロール（8月3日市内一斉パトロール）156人参加 各支部パトロール述べ832人参加
随 時	重点地区パトロール

(2) 環境浄化活動

青少年を取り巻く地域環境の浄化について、京都府を主体に関係団体が協力、連携して書店やレンタルビデオ店、コンビニ等の実態を調査し、青少年の健全育成への理解と協力を求めた。

また、自販機等の調査については、京都府社会環境浄化推進員が随時行った。

主な取組

実施日	内 容
7月26日(金)	少年を非行から守る全国強調月間として環境浄化立ち入り調査を実施(10人) 市内の書店、ビデオ店、コンビニ、携帯電話販売店など5か所を対象に実態調査

(3) 啓発活動

広報「むこう」（7月1日号）に啓発文を掲載

(4) 子ども会育成者説明会（総会時）

ア 実施日 平成25年5月11日（土）

イ 会 場 市民会館第1会議室

ウ 内 容 向日市子ども会の概要、子ども会関係団体について、生涯学習課主管事業について

3 成人式

(1) 実施日 平成26年1月13日（月・祝）

(2) 会 場 市民会館ホール

(3) 内 容 記念式典、交流会：①佛教大学よさこいサークル「紫踊屋」よさこい演舞 ②抽選会

(4) 出席者 成人 348人（対象者484人） 来賓 41人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

(1) 向日市子ども会育成連絡協議会 400,000円

(2) 向日市少年補導委員会 500,000円

(3) 向日市青少年健全育成連絡協議会 200,000円

(4) 物集女青少年健全育成会議 20,000円

10 教育費 4 社会教育費 2 中央公民館費

② 公民館運営費（中央公民館）

1 中央公民館主催事業

生涯学習時代を迎えた今日、市民の多様化する学習ニーズに応えられる各種講座を開催するなど、学習機会及び情報の提供並びに市民の自主的な学習への支援を行い、生涯学習への環境づくりに努めた。

講 座

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	講師・指導者	内 容
教養講座 （家庭経済）	4月10日（水） 4月17日（水） 4月24日（水）	6人 6人 5人	証券会社	・暮らしとお金について ・資産活用と相続について ・相続まで考えた暮らしについて
子育て応援講座（食育）	5月18日（土）	22人	元栄養教諭	・中学生の食生活について ・昼食としてのお弁当 ・お弁当づくりのポイント（実習）
親子体験講座 向日町競輪場 体験ディー	5月26日（日）	28人	京都府自転車競技事務所 競輪選手会	・競輪とは ・競輪の自転車について ・競輪選手の走行練習の見学 ・バンクの試走
教養講座（音楽） 童謡・唱歌の 世界Ⅰ	6月20日（木）	140人	京都西山短期大学 島袋 章 さん	～歌の歴史・由来とともに、 みんなで歌いましょう～ ・夏はきぬ ・背くらべ ・椰子の実 ・證城寺の狸囃子
教養講座（音楽） 童謡・唱歌の 世界Ⅱ	11月5日（火）	101人	京都西山短期大学 島袋 章 さん	～歌の歴史・由来とともに、 みんなで歌いましょう～ ・故郷の空 ・十五夜お月さん ・冬景色 ・里の秋
教養講座（美容） シニアのための お化粧品教室	6月25日（火）	30人	化粧品会社	・スキンケアについて ・メーキャップについて ・実習
教養講座（地域文化） 向日市探究・ 再発見教室① 旭米と2向小 の取組	7月6日（土）	25人	物集女町の皆さん 第2向陽小学校	・2向小の旭米プロジェクトについて ・旭米顕彰碑 碑文・大意について ・旭米プロジェクトの内容について 播種、田植え、稲刈り、脱穀、調理実習 ・旭米プロジェクトでの用水について
教養講座（地域文化） 向日市探究・ 再発見教室② 桜並木と景観	10月12日（土）	12人	西向日の桜並木と 景観を保存する会	・桜並木と景観と文化財保存への取組 ・西向日まちづくり計画について ・西向日 桜並木のまち憲章
教養講座（地域文化） 向日市探究・ 再発見教室③ 森本遺跡につ いて	11月2日（土）	45人	森本町の皆さん 文化資料館	・森本遺跡・森本の地名について ・森本遺跡の発掘に立ち会って ・森本遺跡保存会の活動について ・森本地区と森本遺跡について
夏休み子ども 体験講座 J R 西日本吹 田総合車両所 京都支所見学 会	7月26日（金）	151人	J R 西日本京都支所	・京都支所の概要説明 ・189系列車（はまかぜ号）乗車 （様々な電車の見学、仕業点検の見学、 車両の手洗い・洗浄機の見学） ・鉄道に関する〇×クイズ
夏休み子ども 体験講座 日本電産本社 見学会	8月9日（金） （1日が悪天候 のため延期）	33人	日本電産本社	・社長ビデオメッセージ、会社概要の説明 ・15階研修室からの景色一望 ・1階ショールームでの見学 （製品、創業時の建物、開発製品の歴 敷地内の長岡京遺跡展示）

ふしぎ発見！ 理科教室 (5回)		小学校4 ～6年生		理科好きの子どもを育成するため、 国家資格を有する科学の専門家から理 科の不思議について学んだ。
	① 5月25日(土)	22人	京都技術士会	「再生可能エネルギーによる 発電と蓄電実験」
	② 6月22日(土)	28人	京都技術士会	「モノの力、カタチの力 ～うすっぺ らでも、工夫すれば強くなる～」
	③ 7月20日(土)	31人	京都技術士会	「ゲルをつくろう！」
	④ 8月7日(水)	32人	京都技術士会	「お絵かきバッグ ～オリジナルバッグを作ろう～」
	⑤ 9月7日(土)	36人	京都技術士会	「ポンポン蒸気船の工作 ～ろうそく を燃やして、動く船を作ってみよう～」
夏休み子ども 体験講座 子ども 劇場 体験教室	8月3日(土) 8月4日(日)	26人	劇団ポーリー 舞台運営会社	・市民会館ホール施設見学 ・舞台仕込みの見学 ・台本の読み合わせ、稽古、リハーサル ・本番(舞台発表)
健康講座(食物) 食事と寿命	10月2日(水)	31人	京都府立大学大学院 南山 幸子 さん	・アンチエイジングとは ・活性酸素とは ・抗酸化物質スカベンジャーのはたらき ・健やかな老年
教養講座(情報) シニア・女性 のための初め てのスマート フォン教室	10月23日(水)	午前の部 17人 午後の部 15人	携帯電話販売店	・タブレットの特長、基本操作 ・アプリ インターネット検索 You Tube、カメラの利用 地図で目的地を探す
子ども体験教室 作って楽しい キャラクター 弁当教室	11月9日(土)	23人	京都西山高校 クッキングクラブ	◎調理実習 ・主食 ・主菜 ・副菜等
国際理解講座 今日のベトナム	1月11日(土)	15人	京都府名誉友好大使	・ベトナムの概要 ・ハノイの風景とお料理 ・ダナンの風景と世界文化遺産、お料理 ・ホーチミンの風景とお料理
健康講座(医学) 癌の痛みのコ ントロールと 癌と診断され た時からの緩 和ケア	1月17日(金)	13人	京都府立医科大学 細川 豊史 さん	・「がん」の現状 ・緩和ケアの定義の変化 (診断された時から緩和ケアが必要) ・がん対策基本法と推進基本計画 ・緩和ケア教育の普及・啓発
学社連携講座 (国際理解) 日本から見え ないケニア ケニアから見 えた日本	2月1日(土)	37人	小学校 教諭 元青年海外協力隊	・ケニアの概要(赤道直下であるが温暖) ・ケニアの衣・食・住□ ・ケニアでびっくりしたこと(電気・水 の不安定、身近な自然、時間感覚等)□ ・青年海外協力隊のお仕事□ ・日本の凄さを思い知った
市民文化展	11月16日(土) ～17日(日)	市民、在勤 在学15歳 以上 出品者167名 来場者567名		市民の創作による作品を展示・発表 する場を提供し、文化活動の活性化を 図ることを目的として実施した。

2 中央公民館グループ活動

(1) クラブ・サークル数 24クラブ 部員数 656人

(2) 学習発表会

会 場	実 施 日	内 容	ク ラ ブ 数
中央公民館	平成26年 3月1日(土) 3月2日(日)	【展示・掲示発表】 油絵、日本画、書、ペン習字、 写真、生花、そば打ちの実演	10クラブ 出品点数 260点
市民会館 ホール	平成26年 3月9日(日)	【舞台発表】 合唱・合奏、舞踏、体操 民謡、ダンス、太極拳	17クラブ 中央公民館 10 地区公民館 7

3 中央公民館室別利用状況

(単位：回、人)

室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	第5会議室	第6会議室	料理実習室	和 室	計
利用回数	203	134	52	76	194	27	35	68	789
利用人数	4,165	1,943	495	634	2,973	66	446	755	11,477

10教育費 4社会教育費 3地区公民館費

① 地区公民館費（中央公民館）

1 地区公民館における事業

市民が身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。

講 座

公民館名	内 容	実 施 日	参加者数	講 師 ・ 指 導 者
寺 戸	教養講座 「シニアのためのスマートフォン入門講座」	6月20日(木)	15人	携帯電話販売店
	健康講座 「高血圧を予防する健康生活」 ～いつまでもしなやかに、若々しく	9月19日(木)	22人	京都府立大学 東 あかね さん
	教養講座 「干支剪画教室」	12月5日(木)	30人	剪画作家
	園芸講座 「寄せ植えを楽しむ」	12月19日(木)	35人	園芸店
物集女	手芸講座 「クリスマス・リース講習会」	11月18日(月)	20人	手芸家
森 本	健康講座 「ロコモティブシンドローム対策」	12月4日(水)	40人	管理栄養士
鶏冠井	園芸講座 「ひと味違う 正月飾り」	12月19日(木)	25人	園芸家
上植野	金箔手工芸講座 「色紙に金箔で干支を描く」	12月10日(火)	30人	金箔手芸家

2 グループ活動

(1) 地区公民館クラブ数・部員数

公民館名	寺戸	物集女	森本	鶏冠井	上植野	計
クラブ数	44	7	13	10	9	83
部員数	655	103	177	112	103	1,150

(2) 学習発表会

公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表

公民館名	実施日	展示・掲示発表 クラブ数	展示・掲示発表 出展者数	展示・掲示発表 出展品数
寺戸	2月8日(土)・9日(日)	13	147人	332点
物集女	2月1日(土)・2日(日)	7	92人	28点
森本	2月22日(土)・23日(日)	5	54人	77点
鶏冠井	2月15日(土)・16日(日)	10	58人	199点
上植野	2月15日(土)・16日(日)	4	30人	168点

3 地区公民館使用状況

(単位：回、人)

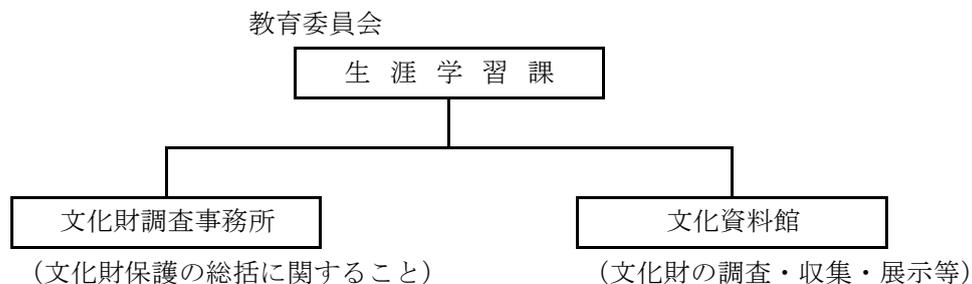
公民館名	寺戸	物集女	森本	鶏冠井	上植野	計
利用回数	1,681	557	537	342	339	3,456
利用人数	20,160	7,019	9,302	4,258	4,220	44,959

10 教育費 4 社会教育費 4 文化財保護費

② 文化財保護事業費（文化財調査事務所）

市内の文化財を保護し、普及・活用を促進するため、次の事業を実施した。

1 文化財保護の体制



2 市域に所在する指定文化財等

平成26年3月31日現在

		有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物			文化的景観	伝統的建造物群保存地区	保存技術	合計
		建造物		美術工芸品							有形	無形	史跡	名勝	天然記念物				
		件数	棟数	彫刻		絵画	古文書	考古資料	歴史資料										
				仏像	石造物														
国	指定	1	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
	登録	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
府	指定	2	3	0	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	8
	登録	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	選定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
市	指定	0	0	7	1	2	5	7	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	27
合計		11	12	7	1	3	7	12	1	0	1	2	4	0	0	1	0	0	50

3 有形文化財の保護と防火防犯

(1) 文化財火災予防運動（乙訓消防組合との共同事業）

ア 期 間 平成26年1月23日～平成26年1月29日

（平成26年1月26日は、「第60回文化財防火デー」）

イ 内 容 期間中、消防訓練の他社寺等に対する防火設備等検査、防火運動広報等を実施した。

(ア) 広報活動 広報誌にて啓発。市役所庁舎本館、西別館及び市内社寺に看板を設置した。

(イ) 消防訓練 平成26年1月23日(木)、南真経寺において、向日市消防署主催により消防訓練を実施した。参加者は、住職の他寺関係者約10人。

(ウ) 立入検査 平成26年1月27日・28日に、乙訓消防組合主催により、向日神社、南真経寺及び北真経寺等の国指定文化財や府指定文化財及び登録文化財の建造物に立入検査を行い、消防設備の点検及び防火・防災に対する意識の高揚を図った。

ウ その他

防火・防犯の徹底の呼びかけ、文書案内等 2回/年

(2) 文化活動等への補助

ア 目 的 有形文化財を活用した文化活動の振興を図る。

イ 交付先 国登録有形文化財 中小路家住宅

ウ 補助額 40,000円

(3) 維持管理等への補助 向日市文化財保護事業補助金事業

ア 目 的 有形文化財の維持管理等を図る。

イ 内 容 市内に所在する個人及び法人等が所有する指定文化財及び登録文化財の維持管理経費の一部を補助した。

ウ 交付先等

(ア) 向日神社本殿（国指定文化財） 防災設備維持管理等 148,000円

(イ) 須田家住宅（府指定建造物） 防災設備維持管理等 24,000円

(ウ) 南真経寺開山堂・本堂（府指定建造物） 防災設備維持管理等 19,000円

4 無形民俗文化財の保護と後継者育成

(1) 補助金の交付

- ア 団体名 京都府指定無形民俗文化財 鶏冠井題目踊
- イ 目的 各種活動及び後継者の育成を図る。
- ウ 金額 35,000円

5 記念物の保護

(1) 史跡

史跡長岡宮跡一覽表

(単位：㎡)

名称	地区	指定年月日	所在地	小字	史跡の所有形態							整備状況				
					国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
史跡長岡宮跡	大極殿・小安殿地区	昭和39年4月27日	鶏冠井町	大極殿・祓所	0.00	2,510.61	242.03	0.00	0.00	0.00	0.00	2,752.64	2,752.64	0.00	0.00	2,752.64
	内裏内郭築地回廊地区	昭和48年4月23日		荒内	0.00	1,165.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,165.98	1,165.98	0.00	0.00	1,165.98
	築地地区	昭和56年9月8日		稲葉	323.96	0.00	633.70	0.00	0.00	0.00	0.00	957.66	957.66	0.00	0.00	957.66
	朝堂院西第四堂地区	平成4年5月6日		山畑	0.00	0.00	1,867.86	0.00	0.00	0.00	0.00	1,867.86	1,867.86	0.00	0.00	1,867.86
	宝幢地区	平成11年1月14日		祓所	0.00	0.00	577.74	0.00	0.00	328.95	0.00	906.69	0.00	741.74	164.95	906.69
	開門地区	平成14年3月19日		祓所	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	769.84	769.84
	朝堂院西第四堂・南門地区	平成14年9月20日		山畑	0.00	0.00	662.18	0.00	0.00	0.00	0.00	662.18	662.18	0.00	0.00	662.18
	開門前庭・朝堂院南面回廊地区	平成18年7月28日	野上町植	祓所・山畑 南開	0.00	0.00	1,213.87	0.00	0.00	572.79	0.00	1,786.66	922.34	0.00	864.32	1,786.66
	大極殿東面回廊地区	平成22年2月22日	鶏冠井町	祓所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	324.03	0.00	324.03	0.00	0.00	324.03	324.03
大極殿西・北面回廊地区	平成26年3月18日	大極殿		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,728.45	0.00	2,728.45	0.00	0.00	2,728.45	2,728.45	
計					323.96	3,676.59	5,967.22	0.00	0.00	3,954.22	0.00	13,921.99	8,328.66	741.74	4,851.59	13,921.99

上記の表のとおり、平成25年度末現在の史跡面積は13,921.99㎡である。

(2) 史跡・遺跡等文化財用地の保存と維持管理

市内の遺跡には、国指定史跡が8か所、府指定史跡が1か所、市指定史跡が2か所存在する。

また、寺戸大塚古墳や森本遺跡など史跡に準ずる未指定の貴重な遺跡も存在する。

これらの遺跡の保存・維持について、除草等が必要なものについて（公社）向日市シルバー人材センター等に委託し、各種の維持管理事業を実施した。

ア 史跡長岡宮跡：朝堂院公園地区

文化財案内員を配置、史跡の管理、説明等を行った。(案内員 5 人)

(案内員が説明した人数)

月	稼働日数	利用者数	1日平均	月	稼働日数	利用者数	1日平均
4月	30日	750人	25.00人	10月	31日	550人	17.74人
5月	31日	864人	27.87人	11月	30日	838人	27.93人
6月	30日	505人	16.83人	12月	24日	147人	6.13人
7月	31日	213人	6.87人	1月	26日	289人	11.12人
8月	24日	131人	5.46人	2月	28日	670人	23.93人
9月	29日	636人	21.93人	3月	31日	423人	13.65人
				計	345日	6,016人	17.44人

平成22年度 3,702人

平成23年度 6,691人

平成24年度 5,857人

平成25年度 6,016人

累計 22,266人

イ 史跡長岡宮跡：築地公園地区

遺跡復元地の美観を保つための除草業務（年4回）、生け垣刈込み業務（年1回）を委託した。

ウ 史跡長岡宮跡：宝幢跡地区

遺跡復元地及び買上地の美観を保つための除草業務（年3回）を委託した。

エ 府史跡物集女車塚古墳公園

遺跡保全整備地の美観を保つための清掃業務（年20回）、植栽への夏期散水業務（6回）を委託した。

オ 長岡宮跡：朝堂院西方官衙

遺跡の現状を維持するための除草業務（年2回）を委託した。

カ 史跡長岡宮跡：閤門地区

遺跡の美観を保つための除草業務（年3回）を委託した。

キ 寺戸大塚古墳

寺戸大塚古墳後円部の美観を保つための除草及びタケノコ除去業務（年4回）を委託した。

6 埋蔵文化財の保護

(1) 埋蔵文化財の届出審査等

周知の埋蔵文化財包蔵地内（遺跡内）の文化財保護法による届出・通知を審査し、その他各種の調査を実施した。

ア 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 61 件

イ 建築確認申請に係る文化財審査 340 件

ウ 届出書受理件数 215 件（遺跡内での個人・法人等が実施した土木工事件数）

エ 通知書受理件数 14 件（遺跡内での公共機関が実施した土木工事件数）

オ 発掘調査件数 14 件 1,413.60 m²
（「平成25(2013)年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表」参照）

カ 工事立会件数 193 件

※ オ、カの業務は、教育委員会の指導と委託により、（公財）向日市埋蔵文化財センターにおいて実施した。

(2) 埋蔵文化財の保存と整備（各種の調査、報告、広報、普及など）

埋蔵文化財の保存と各種の調査及び資料収集等を実施した。

ア 国宝重要文化財等保存整備費補助金交付対象事業 18,375,000 円

イ 向日市単独事業 2,100,000 円

ウ 原因者負担金事業 20,831,949 円
教育委員会の指導により、（公財）向日市埋蔵文化財センターが原因者から受託

エ 平成25年度埋蔵文化財調査

(7) 埋蔵文化財発掘調査地一覧表

平成25 (2013) 年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表								
	遺跡名	調査回数	調査地	原因者 (土地所有者等)	調査期間	面積 (㎡)	出土 遺物数 (箱)	備考
1	長岡宮跡	第498次	寺戸町中ノ段	向日市 (範囲内容確認)	13.05.20~13.05.27	30.00	1	※
2	長岡宮跡	第499次	鶏冠井町萩所	向日市 (範囲内容確認)	13.09.09~13.09.30	107.00	1	※
3	長岡宮跡	第500次	寺戸町二枚田	向日市 (範囲内容確認)	13.12.16~13.12.20	20.00	1	※
4	長岡京跡	左京第567次 第10次	上植野町芝ヶ本	法人開発	13.07.25~13.09.13	344.00	11	
5	長岡京跡	左京第563次	上植野町北小路	向日市 (範囲内容確認)	13.08.19~13.09.30	192.60	9	※※
6	長岡京跡	左京第566次	鶏冠井町沢ノ東	向日市 (範囲内容確認)	14.01.15~14.02.28	105.00	2	※
7	長岡京跡	左京第567次	鶏冠井町西金村	法人開発	14.01.21~14.01.28	30.00	1	※
8	長岡京跡	左京第568次	上植野町十ヶ坪	法人開発	14.02.17~14.03.07	35.40	1	※
9	長岡京跡	左京第569次	上植野町持丸	法人開発	14.03.10~14.03.31	120.00	1	
10	長岡京跡 五塚原古墳	右京第1062次 第3次	寺戸町芝山 (五塚原古墳)	向日市 (範囲内容確認)	13.07.01~13.09.11	100.00	1	※
11	長岡京跡	右京第1064次	寺戸町中野	法人開発	13.07.01~13.07.29	178.60	1	
12	長岡京跡	右京第1081次	寺戸町西野	向日市 (範囲内容確認)	14.01.20~14.01.24	30.00	1	※
13	北ノ口遺跡	第4次	物集女町北ノ口	向日市 (範囲内容確認)	13.11.12~13.11.19	25.00	0	※
14	修理式遺跡	第14次	寺戸町寺田	向日市 (範囲内容確認)	13.07.16~13.08.09	96.00	1	※※
合計						1,413.60	32	
						一発掘調査あたりの平均	100.97	2.3

※ : 国庫補助対象事業

※※ : 公共事業に伴う発掘調査業務

無印 : 民間開発等原因者負担金による事業(市公共事業を含む)

(イ) 発掘調査面積は、一件平均100.97㎡である。

(3) 報告書等刊行事業

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第100集』 300冊 [埋蔵文化財発掘調査事業]

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第101集』 300冊 [埋蔵文化財発掘調査事業]

(公財) 向日市埋蔵文化財センターに委託等を行った発掘調査の概要報告書を刊行した。

(4) 出土遺物保存処理・維持管理事業、埋蔵文化財調査出土遺物整理分類事業

ア 長岡京跡ほか出土遺物保存処理事業

(ア) 目的 埋蔵文化財発掘調査により出土した木製品や金属器の変形や腐食を防ぎ、向日市文化資料館等で展示したり、活用できるように遺物の化学的保存処理を実施した。

(イ) 点数 木製品 247点 (長岡京跡出土木簡)

(ウ) 出土地 向日市鶏冠井町沢ノ東地内ほか

(エ) 委託先 京都保存科学株式会社

(オ) 処理方法 溶剤、樹脂含浸法

(カ) 委託料 2,592,450円

イ 出土遺物整理業務

- (ア) 目 的 文化財調査出土遺物を整理し、収蔵庫の管理をする。
- (イ) 委託期間 平成25年6月24日～平成25年10月25日
- (ウ) 業務内容 出土遺物のランク分け及び台帳・目録の作成等
- (エ) 委託先 420,000円

7 乙訓文化財事務連絡協議会

(1) 目的

乙訓2市1町の教育委員会、(公財)向日市埋蔵文化財センター、(公財)長岡京市埋蔵文化財センターの5機関で構成し、情報交換及び相互の連絡調整を図るものである。平成25年度は、大山崎町教育委員会が代表幹事を務めた。

(2) 協議会

ア 第1回協議会(平成25年5月14日〔火〕)

- (ア) 平成24年度事業報告について
- (イ) 平成24年度決算報告及び監査報告について
- (ウ) 平成25年度事業計画(案)について
- (エ) 平成25年度予算(案)について

イ 第2回協議会(平成25年10月1日〔火〕)

- (ア) 平成26年度埋蔵文化財発掘調査経費について
- (イ) 平成26年度アルバイト従事者賃金について
- (ウ) 立会調査費の単価について
- (エ) 「スライドでみるおとくへの発掘」の実施について
- (オ) その他

(3) 担当者会議(平成25年8月29日〔木〕)

京都府発掘調査積算基準について

(4) 「スライドでみるおとくへの発掘」

ア 開催日 平成26年3月2日(日)

イ 場 所 大山崎ふるさとセンター 3階ホール

ウ 内 容

- (ア) 特別報告「平安京の瓦生産と淀川流域 ～大山崎瓦窯の調査成果から～」

(講師 大山崎町教育委員会)

- (イ) スライド報告

a 長岡京左京三条四坊六町の調査

(講師 京都市埋蔵文化財研究所)

b 長岡京左京六条一坊・大路交差点の調査

(講師 長岡京市埋蔵文化財センター)

c 上植野城の調査 ～土地に刻まれた戦いのかたち発見～

(講師 向日市埋蔵文化財センター)

エ 参加者 約100人

8 文化財の広報普及事業

(1) 物集女車塚古墳の石室一般公開

- ア 事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金
史跡長岡宮跡・埋蔵文化財活用業務
- イ 開催日 平成25年6月4日(火)～平成25年6月9日(日)
- ウ 場所 物集女車塚古墳
- エ 目的 平成6年度に整備工事を完了した物集女車塚古墳の石室を広く市民に公開し、古墳への理解と文化財保護意識の向上を図る。
- オ 見学者 見学者375人 1日平均62人
- カ その他 一般公開日以外も、見学を希望する団体には臨時に石室を公開して、説明を実施した。
6団体等 491人

番号	臨時公開日	団体名等	見学者数
1	平成25年4月26日(金)	京都市立上里小学校	53人
2	平成25年5月7日(火)	向日市立第2向陽小学校	104
3	平成25年5月15日(水)	向日市立第5向陽小学校	95
4	平成25年5月20日(月)	向日市立第4向陽小学校	99
5	平成25年5月24日(金)	向日市立第6向陽小学校	67
6	平成25年5月25日(土)	京都橘大学	65
7	平成25年6月17日(月)	個人	6
8	平成26年3月24日(月)	京都リビング新聞社(「京都リビング」取材のため)	2
	計		491

(2) 古代衣装の製作

長岡京時代の衣装(雑色3セット及び女官2着)を製作し、朝堂院公園に常備し、来園者に貸出するほか、イベントの際には、史跡案内員等がそれを着用し、史跡の解説等を行った。

(女官の衣装については、公益財団法人向日市埋蔵文化財センターが製作)

(3) 資料の貸出等

本市所蔵の出土遺物や写真資料等を他機関へ貸し出すなど、文化財保護及び本市の文化財について広報普及を図った。

ア 貸出等 (8機関に259点の資料を貸出)

番号	機関名等	点数	備考
1	立命館大学文学部	6点	大学院生調査研究のため
2	大阪大学文学部	3点	卒業論文作成のため
3	公益財団 松山市文化・スポーツ振興財団	21点	平成25年度特別展「出土文字から探る古代松山」開催に係る資料調査のため
4	大阪市教育委員会	2点	長岡宮跡出土軒瓦調査のため
5	京都府立山城郷土資料館	2点	「南山城の歴史と文化」出展のため
6	個人	13点	調査研究のため
7	個人	1点	調査研究のため
8	(公財) 向日市埋蔵文化財センター	138点	記念展示「桓武天皇の王宮」出展のため
		13点	設立25周年記念事業に使用するため
		30点	小学校の出張講座に使用するため
		30点	平成25年度調査研究成果展「王墓発掘」出展のため
計		259点	

イ 写真資料提供、掲載等 (6機関に8点を提供)

番号	機関名等	点数	備考
1	浜学園	1点	試験問題作成のため
2	浜島書店	1点	日本史資料集掲載のため
3	京都市文化財保護課	2点	寺戸大塚古墳発掘調査書作成のため(写真掲載)
4	(株)アーテファクトリー	1点	歴史本に掲載のため
5	(株)吉川弘文社	2点	歴史本に掲載のため
6	多賀城市教育委員会	1点	アプリケーション「AR長岡宮」について
計		8点	

ウ 資料見学等 (1機関に117点の資料を提供)

番号	機関名等	点数	備考
1	宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査室	87点	車塚古墳に関する研究論文執筆のため
2	宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査室	30点	元稲荷古墳から出土する埴輪及び土器
計		117点	

(4) 市民考古学講座

ア 事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

史跡長岡京跡・埋蔵文化財活用業務

イ 目的 長岡京跡をはじめ市域に所在する遺跡や歴史及び文化遺産への理解を深める。

ウ 内容 参加者が本市の文化財案内人やサポーターとしても活躍できる内容で開催した。

エ 業務 (公財) 向日市埋蔵文化財センターに委託

オ 内容

テーマ		開催日 開催地等	内 容	参加者
1	「乙訓と長岡京の自然・歴史」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成25年7月21日(日) 向日市文化資料館	講演会	74人
2	「長岡京の造営計画」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成25年8月4日(日) 向日市文化資料館	講演会	58
3	「長岡京中枢部の構造」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成25年9月22日(日) 向日市文化資料館	講演会	53
4	「長岡京期の金属器製作」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成25年10月13日(日) 向日市文化資料館	講演会	42
5	「長岡京から平安京へ」□ (講師 近畿大学 網 伸也さん)	平成25年10月20日(日) 向日市文化資料館	講演会	85
計				312

(5) 向日市の文化・歴史資産・地域活性化事業

ア 事業名 史跡等総合活用支援推進事業

イ 目的 本市の多様で豊かな歴史及び文化遺産等を活用し、文化、観光振興とともに地域の活性化を図るため。

ウ 期間 平成25年6月29日～平成26年3月20日

エ 内容 「長岡宮復元・体感事業アプリケーション制作業務」(体感アプリ「AR長岡宮」)の制作(平成25年度主要事業)

オ 金額 14,908,950円

9 文化財保護団体の育成

市内に所在する文化財保護団体の育成のため、その活動費の一部を補助した。

各種文化財保護団体補助

ア	大極殿遺跡保存協賛会	40,000円
イ	森本遺跡保存会	19,000円
ウ	物集女城を考える会	19,000円
エ	鶏冠井シャナンボウ保存会	35,000円

10教育費 4社会教育費 5留守家庭児童会育成費

①留守家庭児童会育成費（生涯学習課）

1 留守家庭児童会の入会児童数

（単位：人）

留守家庭児童会	児童数（5月1日現在）									
	25年度						24年度	23年度	22年度	21年度
	1年	2年	3年	4年	5・6年	合計				
第1	39	18	24	5	0	86	79	89	97	92
第2	23	33	21	7	0	84	76	76	64	92
第3	23	19	12	13	0	67	63	53	50	51
第4	29	30	19	11	1	90	93	99	95	105
第5	26	17	17	24	2	86	101	107	111	121
第6	9	9	13	10	0	41	40	42	40	35
合計	149	126	106	70	3	454	452	466	457	496

留守家庭児童会保護者協力金調定額（現年度分）	平成25年度 26,301,400円	平成24年度 26,463,100円	平成23年度 26,808,000円	平成22年度 26,737,800円

留守家庭児童会	指導員・嘱託指導員数	アルバイト数（加配）	施設	
第1	3人	3人	鉄骨造	297.00㎡
第2	4	5	〃	160.58
第3	3	3	〃	167.59
第4	4	5	〃	200.81
第5	4	6	〃	287.67
第6	2	1	〃	106.00
合計	20	23		

（平成25年5月1日現在）

2 留守家庭児童会指導員研修会

留守家庭児童会指導員の資質向上を図るため、実技を含めた研修会を実施した。

実施日	研修内容	活動場所
7月10日	障がいのある児童の育成について	向日が丘支援学校
8月2～29日	各児童会施設における消防避難訓練	各留守家庭児童会
8月20、22、28日	各児童会施設における防犯訓練	各留守家庭児童会
11月6日	こどもの事故防止～身近に潜む危険～	市民会館
2月19日	救急講習	市民会館

10教育費 4社会教育費 6図書館費

②図書館管理運営費（図書館）

1 資料受入れ・廃棄状況

(1) 図書・聴覚資料

（単位：冊、点）

	一般図書	児童図書	C	D	カセット	レコード	合計
購入	2,795	1,586		57	0	0	4,438
寄贈	232	41		21	15	0	309
その他	35	21		2	0	0	58
廃棄	758	320		18	6	0	1,102
合計	2,304	1,328		62	9	0	3,703

(2) その他の資料

	雑 誌 (種)	雑 誌 (冊)	新 聞 (種)
購 入	61	825	8
寄 贈	2	15	2
合 計	63	840	10

2 資料所蔵状況

(1) 図 書

(単位：冊)

	一 般 図 書	児 童 図 書	合 計
総 記	3,879	434	4,313
哲 学 ・ 宗 教	3,809	244	4,053
歴 史 ・ 地 理	12,125	1,715	13,840
社 会 科 学	18,142	1,131	19,273
自 然 科 学	7,362	3,237	10,599
技 術 ・ 家 政 学	8,622	1,097	9,719
産 業	3,281	565	3,846
芸 術 ・ ス ポ ー ツ	9,766	1,359	11,125
言 語	1,954	401	2,355
文 学	18,359	16,952	35,311
近 代 小 説	25,997		25,997
外 国 の 本	603	129	732
絵 本		17,166	17,166
紙 芝 居		1,318	1,318
合 計	113,899	45,748	159,647

(2) 聴覚資料

(単位：点)

資 料 名	所 蔵 数
C D	4,267
カセットテープ	1,220
レ コ ー ド	18
合 計	5,505

3 図書館運営状況

(1) 貸出資料数

(単位：冊、点、日)

合 計	一 般 図 書	児 童 図 書	雑 誌	聴 覚 資 料	他 館 借 用 資 料	開 館 日 数	平 均		
							1 日 当 た り	土 日	祝 日
335,695	169,052	135,695	10,313	19,228	1,407	281	1,195	1,629	1,254

(2) 貸出者数

(単位：人、日)

合 計	一 般	児 童	開 館 日 数	平 均		
				1 日 当 た り	土 日	祝 日
88,821	74,780	14,041	281	316	411	311

(3) 各種サービス

資料の貸出しのほか、以下のサービスを行った。

- ア レファレンス 179件
- イ コピー 6,898枚（うちカラー299枚）
- ウ 予約 20,164件
- エ 他館との資料の相互貸借 貸出し 755件 借用 1,618件
- オ 障がい者サービス ライトハウスからカセットテープを借用し提供 160巻
自宅配本 41回 159点
- カ 外部データベース・インターネット 利用件数 988件

(4) インターネットホームページの運営・管理

- ア アドレス <http://www.library.muko.kyoto.jp/>
- イ 内容
 - (ア) 図書館資料の検索
 - (イ) 図書館利用案内と各種お知らせの掲載
 - (ウ) インターネット予約（インターネット予約件数 年間12,374件）
 - (エ) 貸出期間の延長
 - (オ) 「京都府図書館総合目録ネットワーク」の横断検索に対応

4 施設の維持管理等

通常の管理のほかに、次の施設・設備について修繕をした。

- (1) 図書館中庭扉サッシュ修繕
- (2) 防火扉修繕
- (3) 電動集密書架修繕
- (4) 外灯電球取替修繕
- (5) 玄関庇天井塗装修繕

5 ボランティア活動

- (1) アベリアクラブ 23人
活動 本の修理 延べ 411人、1,685冊を修理
- (2) きっず・らいぶらりー 14人
活動 おはなしひろば 8回開催 参加人数 子供 189人 大人 122人
打ち合わせ・リハーサル等延べ活動人数 213人
- (3) 大人の朗読会ボランティア 6人
4回開催 参加人数 74人

③ 読書推進事業費（図書館）

事業名・テーマ	開催日	参加人数	内容
渡邊武コレクション 《常設展示》	平成25年4月～ 平成26年3月	来館者	寄贈を受けた「渡邊武コレクション」を広く市民に紹介するため図書館1階カウンター横の展示ケースにおいて展示した。

<p>〈おはなし会 プラスコンサート〉</p> <p>『なつやすみ おはなし会』</p> <p>『クリスマス おはなし会』</p> <p>『はるやすみ おはなし会』</p>	<p>平成25年 7月24日 (延べ2回)</p> <p>平成25年 12月23日 (延べ2回)</p> <p>平成26年 3月27日 (延べ2回)</p>	<p>88人</p> <p>61人</p> <p>48人</p>	<p>ストーリーテリング(素ばなし)、絵本によるお話、紙芝居、CDによるクラシック音楽の紹介等を職員が行った。 《対象》4歳～小学生</p>
おはなしひろば	毎月第3土曜日 (7・8・12・3月を除く。)8回	311人	親と子どものふれあい、児童の読書推進を目的に、図書館ボランティアが開催した。
大人の朗読会	平成25年6月23日 9月10日 12月15日 平成26年3月18日	74人	大人の朗読会ボランティアグループによる名作の朗読会を実施した。
体験学習・施設見学	平成25年4月～ 平成26年3月	体験1校 見学 4校4回 1園1回	市内の中学校2年生(4日間)の体験学習及び市内小学校、幼稚園の見学を受け入れた。
書庫に入れるDay —書庫の中にも本が いっぱい—	平成25年5月6日	16人	15歳以上の市民を対象として、普段入ることのできない図書館の書庫を一般公開した。
図書館ボランティア 講習会	平成25年6月18日	16人	図書館ですでにボランティアとして活動されている方を対象に本の修理についての技能向上のための講習会を実施した。
図書館リサイクル・デー	平成25年6月27日	125人	保存年限の経過した雑誌、図書を、資源の有効活用を目的として、市民に無償で譲渡した(895冊)。この事業は環境月間事業の一環として実施した。
図書館 本の修理ボランティア 養成講座	平成25年9月5日	10人	図書館で活躍いただける新たなおはなし会ボランティアを募集し、最初に必要な技術を身につけてもらうことを目的に実施した。受講者のうち2人がボランティア登録を行い活動を開始した。
第12回小中学生読書感想 文コンクール	募集期間 平成25年9月10日 ～29日 入賞者表彰式 平成26年1月11日	206編	市内の小・中学生を対象に読書感想文を公募した。 その中から優秀作品を選考し表彰式を実施するとともに入賞作品集を発行した。
文学講座 120分de解き明かす 「近代の文豪・夏目漱石 『こゝろ』に迫る」	平成26年 3月6日・13日	106人	「こゝろ」発表100年に当たり、夏目漱石にスポットを当てた。 漱石の生き方、ライフスタイル、思想、取り巻く人々などから魅力ある人物像を発見することにより、漱石作品の奥深さを学んだ。

10教育費 4社会教育費 7資料館費

② 資料館運営費（文化資料館）

1 入館者の状況

- (1) 入館者数 12,765人
- (2) 開館日数 281日
- (3) 1日平均入館者数 45人
- (4) 団体見学 52団体（20人以上の団体のみ）

2 施設の維持管理

通常の管理のほかに、次の施設・設備について修繕した。

- (1) 文化資料館空調設備修繕
- (2) 文化資料館防排煙制御設備改修修繕
- (3) 文化資料館地下排水枘修繕
- (4) 文化資料館2階廊下電灯スイッチ増設修繕
- (5) 文化資料館樹木維持修繕
- (6) 文化資料館常設展示室内「復元長岡京期はさみ」修繕
- (7) 文化資料館ラウンジ来客用ソファ修繕
- (8) 文化資料館消防用設備点検後不良修繕

③ 文化活動推進事業費（文化資料館）

1 夏休み子ども歴史教室「拓本にチャレンジ！ - 古いお金と瓦の拓本をとろう -」

(1) 開催趣旨

夏休み子ども歴史教室は、夏休み期間中にもものづくりなどの体験学習を通じて、子どもたちに地域の歴史への理解と関心を深めてもらうことを目的に毎年開催している。

今年度は、考古学の調査において重要な手法である拓本による資料の観察と記録を体験し、歴史への子どもたちの理解と関心を深める催しとして実施した。

- (2) 開催日時 平成25年7月25日(木)・26日(金) 午後1時30分～3時30分
- (3) 場所 文化資料館研修室
- (4) 指導者 (公財)向日市埋蔵文化財センター
〈指導補助〉文化資料館ボランティアの会
- (5) 参加人数 市内在住の小学4年生～小学6年生、19人
- (6) 作品展 作品を7月27日(土)から8月11日(日)まで資料館で展示した。

2 文化講演会

(1) 実施内容

乙訓を中心とした日本の歴史や文化の研究者を講師に迎えて開催した。

企画展「向日里人物志の世界 - 近世乙訓の文化サロン -」の関連事業の一つとして実施した。

- (2) 開催日時 平成25年10月6日(日) 午後2時～4時
- (3) 講師・演題 京都市歴史資料館
「江戸時代京都の出版と学芸」
- (4) 参加人数 50人

3 文化資料館歴史講座

文化資料館の展示や市内の史跡の見学、収蔵資料の整理などの体験をとおして、身近な地域の歴史や文化を学ぶための全7回の講座として開催した。

- (1) 開催日時 平成25年6月20日(木) 午後1時30分～3時30分
演題・講師 「文化資料館まるごと案内～展示室も収蔵庫も～」 文化資料館
参加人数 26人

- (2) 開催日時 平成25年7月11日(木) 午後1時30分～3時30分
演題・講師 「活動拠点としての資料館～もっと資料館を使おう～」 大山崎町歴史資料館
参加人数 24人
- (3) 開催日時 平成25年8月1日(木) 午後1時30分～3時30分
演題・講師 「乙訓地域の歴史を学ぶ～古代から近代まで～」 むこうまち歴史サークル
参加人数 44人
- (4) 開催日時 平成25年9月19日(木) 午後1時30分～3時30分
演題・講師 「絵図・地図・写真で見る向日市の歴史」 文化資料館
参加人数 50人
- (5) 開催日時 平成25年10月24日(木) 午後1時30分～3時30分
演題・講師 「長岡京期の服飾～常設展示の古代衣装を学ぶ～」 古代衣装研究者
参加人数 69人
- (6) 開催日時 平成25年11月7日(木) 午後1時30分～3時30分
演題・講師 「“長岡の都”の史跡を訪ねて」 (公財)向日市埋蔵文化財センター
参加人数 42人
- (7) 開催日時 平成25年12月10日(火) 午後1時30分～3時30分
演題・講師 「民俗資料(むかしの道具)を整理する」 京都造形芸術大学 伊達 仁美 さん
参加人数 23人

4 日曜談話会

資料館職員が、調査や展示準備など日常業務の中で調べた内容を報告し、参加した市民と気軽に語り合う催しで、身近な地域の歴史や文化についての理解を深めるための事業として開催した。

- (1) 平成25年6月23日(日) 午後2時～4時、30人
「大正から昭和戦前期の乙訓郡誌編さん」
- (2) 平成25年8月18日(日) 午後2時～4時、13人
「戦争・災害とまちの暮らし」
- (3) 平成26年2月23日(日) 午後2時～4時、13人
「桓武天皇と遊猟」

5 西国街道リレーウォーク 「阪急東向日駅～東寺 - いよいよ花の都、京へ入る - 」

(1) 実施内容

西国街道沿道の博物館・資料館が西国街道をアピールするために協力して案内する「西国街道リレーウォーク」の第8回目として開催した。

- (2) 開催日時 平成25年11月16日(土) 午前9時～午後12時30分
- (3) コース 阪急東向日駅～JR向日町駅～福田寺～久世橋～吉祥院～西寺跡～羅城門跡～東寺
<約8km>
- (4) 参加費 50円(保険料)
- (5) 参加人数 51人

6 史跡めぐり 「「近江の宮都」をたずねて」

(1) 開催趣旨

近隣地域の史跡、景勝地を訪問し、学び親しむことを通じて、本市の歴史・文化・自然への理解、愛着を深める事業として実施している。

- (2) 開催日時 平成26年3月16日(日) 午前8時30分～午後6時
- (3) 行先 大津錦織遺跡・近江神宮⇒史跡紫香楽宮跡(甲賀寺跡)・宮町遺跡⇒安土城考古博物館
- (4) 参加人数 39人

7 「体験！探検！資料館」

(1) 開催趣旨

夏休み期間中に、本市及び近隣の児童・生徒に文化資料館に気軽に来館してもらう機会を設けるために実施した。長岡京をはじめとした地域の歴史や文化に親しんでもらえるような体験的な内容のイベントを行った。

当館を拠点に活動するボランティアの会に協力をお願いし、活動成果の活用や世代間交流の場ともなるようにした。

(2) 日 時 平成25年8月8日(木)・9日(金) 各日、午前10時～12時、午後1時～4時

(3) 各コーナー 深く知ろう！古代の都長岡京、収蔵庫の民具体験ツアー(1日4回)、長岡宮の瓦づくりにチャレンジ、むかしの灯り・風・音体験コーナー、謄写版体験コーナー、はかり体験コーナー、パズルであそぼう！コーナー、子ども歴史教室のパフレット進呈

(4) 参加人数 1日目：85人、2日目：106人

8 『国際博物館の日』記念事業ワークショップ「古代の織物ミニ体験」

(1) 実施内容

古代に使われていた織物をつくる道具をもとに考えたキットを使って、織物の仕組みを実際に体験できるワークショップを行った。向日市文化資料館ボランティアの会主催による「国際博物館の日」記念事業として開催した。

(2) 開催日時 平成25年5月5日(日)・6日(月)

各日、①午前10時30分集合 ②午後1時30分集合(所要時間は約90分)

(3) 参加人数 計35人

9 むこうまち歴史サークルの育成

文化資料館を拠点に、向日市をはじめ乙訓地域の歴史と文化を学ぶ自主学习サークルとして発足した。興味のあるテーマごとに班を編成し、各班ごとに毎月2回ずつ学習会を開くほか、全班対象の年1回ずつの親睦会、見学会も行った。

平成25年4月27日(土)には年次総会を開催した。(登録者 57人)

1班 古代の日本を学ぶ

2班 乙訓地域に残る石造物を訪ねる

3班 乙訓の史跡を訪ねる(寺社を中心に)

4班 市内に残る江戸時代の古文書を読む

10 文化資料館ボランティアの会の育成

文化資料館ボランティアの会の育成・支援を行い、小学校児童や団体見学者への常設展示案内や部分的に市内の史跡案内などに取り組んだ。

随時に館蔵資料の整理を行い、整理した資料を展示するなど、ラウンジ展示への参画も実施した。

また、これらの活動に必要な月例会も開催した。(登録者18人)

活動内容

- ・団体見学の案内等 43件
- ・月例会・研修会 11回
- ・展示事業の協力 7件
- ・夏休み子ども歴史教室指導補助2日間
- ・資料整理事業 随時
- ・土曜日の案内延べ 3,223人

11 博物館実習生の受入

地域の歴史や文化財に関心を持ち、主体的に関わろうとする市民を育成する目的で、当館での博物館実習を希望する市内・近隣地域居住の大学生10人を受け入れ、展示、収蔵資料の整理・管理などの実務を指導し、市内に所在する歴史的建造物である富永屋での作業も行った。

④ 調査収集展示事業費（文化資料館）

1 調査収集

- (1) ラウンジ展開催のための資料調査、収集、研究
- (2) 普及活動（歴史教室・日曜談話会など）のための調査、収集、研究
- (3) 乙訓の歴史・文化に関する資料調査、収集、研究
- (4) 図書の収集整理 資料館活動に関する参考図書の収集整理
(平成25年度受領図書 201機関・個人2人 計564冊)

2 資料の公開

- | | |
|------------------|------|
| (1) 収蔵資料貸出 | 18 件 |
| (2) 写真・模型等二次資料貸出 | 34 件 |
| (3) 資料写真撮影・複写 | 55 件 |
| (4) 考古資料閲覧 | 1 件 |
| (5) 古文書閲覧 | 11 件 |
| (6) 民具閲覧 | 1 件 |
| (7) 書籍閲覧 | 5 件 |

3 常設展・ラウンジ展示コーナー

- (1) 常設展示の点検・清掃・補修
- (2) ラウンジ展示コーナーの展示

ラウンジにおいて、館収蔵品・寄託品を中心にテーマ展を実施した。

ア 「むこうし・おとくにを描いた水彩画」

- | | |
|--------------|---------------------------|
| ①「向日市のさくら」 | 期間：平成25年3月30日(土)～4月29日(月) |
| ②「新緑の景観」 | 期間：平成25年5月2日(木)～6月30日(日) |
| ③「西国街道沿いの民家」 | 期間：平成25年9月4日(水)～9月23日(月) |

イ 「明治・大正・昭和の西山・乙訓さくらと観光」

期間：平成25年3月30日(土)～4月29日(月)

ウ 「日像説法石の顕彰」

期間：平成25年5月3日(金)～6月30日(日)

エ 「夏休み子ども歴史教室作品展」

期間：平成25年7月27日(土)～8月11日(日)

オ 「くらしのなかの戦争展」

期間：平成25年8月10日(土)～9月8日(日)

カ 「午の郷土玩具」

期間：平成25年12月21日(土)～平成26年1月19日(日)

キ 「くらしの道具展」

期間：平成26年1月25日(土)～3月23日(日)

ク 「ひな人形展」

期間：平成26年2月22日(土)～3月23日(日)

※「くらしの道具展」に併催の形でひな人形を展示する。

4 企画展「向日里人物志の世界 - 近世乙訓の文化サロン - 」

(1) 実施内容

江戸時代後期、乙訓の商工業の拠点としてにぎわっていた向日町を中心に、地域の文化サロンが形成されていた。当時発行された西岡・乙訓の文化人名簿「向日里人物志」には、国学や俳諧、和歌など諸芸に優れた人々の名が記されており、地域の文化レベルの高さをうかがうことができる。

本企画展では、向日神社文書・鳥羽屋文書を中心に、向日市とその近隣地域に所在する古典籍や俳諧・和歌、またそれらに関連する古文書を中心とした歴史資料を展示した。

(2) 開催期間 平成25年9月28日(土)～10月27日(日)

(3) 入館者数 1,032人

5 市内民家公開展示協力事業

平成20年度に国登録有形文化財となった上植野・中小路家住宅をはじめ、市内の歴史的民家を保存・活用する市民団体の活動に協力した。当館の収蔵資料の活用の意味も含めて、資料を貸し出し、一部展示作業についても協力した。西国街道ひな人形めぐりなど、当館も会場の一つとなり、連動した取組もあった。

展示事業

開催日	場所	内容
平成25年5月3日(金)～5月5日(日)	富永屋	武者人形・昭和期の人形の展示
平成26年2月27日(木)～3月3日(月)	中小路家住宅	ひな人形の展示
平成26年2月27日(木)～3月3日(月)	富永屋	ひな人形の展示

6 緊急雇用対策事業（平成25年度主要事業）

(1) 向日市文化資料館ホームページ・デジタルアーカイブ作成事業

市役所ホームページにリンクさせる形で、向日市文化資料館ホームページを作成した。

常設展はじめ文化資料館の紹介や年間催し物の案内を掲載し、館活動の広報に活用できるようにした。また、向日市内の指定・登録文化財や、近現代写真・古文書のうち代表的なものを閲覧できる設計にし、デジタルアーカイブとしての機能も持たせた。（平成26年4月1日から稼働）

(2) 向日市文化資料館保管絵図等資料修復事業

向日市文化資料館の保管資料（資料館所蔵資料および市内所蔵者寄託資料）のうち、特に展示機会が多く、早期に修復を必要とするものを選択し、専門技術者に委託して修復した。将来にわたって良好に保存し、活用を図るために実施した。

ア 明治六年 上植野村古地図（上植野町自治連合会所蔵）〈向日市指定文化財〉	1 舗
イ 長野山見分絵図（中村光枝家所蔵）	1 舗
ウ 乙訓郡森本村字限図（森本区所蔵）	1 冊（20紙・表紙とも）
エ 前田玄以定書（萁信幸家所蔵）〈向日市指定文化財〉	1 巻
オ 向日社造営所四十分一之図（向日神社所蔵）	1 巻
カ 向日神社社殿絵図・差図	1 件（4点）
キ 向日町籠絵図、他 向日市域略絵図	1 件（8舗）

(3) 向日市内生活文化資料（古文書・民具）活用整備事業

伝統的な生活を物語る古文書や民具の概要を調査し、活用のための資料分類・整理を行った。

ア 古文書概要調査

平成24年度に、市内個人宅から江戸時代を中心とするまとまった古文書群が発見された。当初の文書のかたまりを崩さないよう引き出し又は箱ごとにコンテナに移し、アルファベットによる番号を与えて保管していたものを調査した。

箱ごとに写真と記録をおおよその内容を記録し、今後の詳細調査に備えた作業を行った。

概要調査後の点数 ・横帳 767冊 ・縦帳 298冊 ・刊本 311冊 ・写本 3冊
・状 1,473通 ・印刷物 1冊 ・短冊 42点 ・軸 11点
・図面 1点 ・横半帳など 46点（総点数 2,953点）

イ 民具資料データベース作成

歴史資料デジタル活用整備事業(平成23年度緊急雇用対策事業)で作成した民具の写真データの活用を図るため、ボランティアの会資料整理班が作成した民俗資料カードを分類・整理し、目録と歴史資料台帳を作成した。

・民具資料件数 125件 ・民具総点数 2,617点

10 教育費 4 社会教育費 8 天文館費

② 天文館管理運営費（天文館）

開館20周年記念事業や各種の活性化事業を開催することにより、幼児から高齢者まで楽しめる生涯学習の場となるよう充実を図った。

1 プラネタリウム関係

(1) 一般投影	「たいようくんとおつきちゃん」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
	「THE MOON 月のふしぎ」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
	「宇宙はノンストップ」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
	「Wonders of the Universe」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
	「宇宙～その大きさを感じてみよう」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
	「流れ星をおいかけて」	平成25年7月1日～平成26年3月31日

(2) 団体予約投影

幼児・小学生低学年番組	「たいようくんとおつきちゃん」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
小学生高学年番組	「THE MOON 月のふしぎ」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
中学生・高校生番組	「宇宙～その大きさを感じてみよう」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
一般番組	「宇宙はノンストップ」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
一般番組	「Wonders of the Universe」	平成25年4月1日～平成26年3月31日
一般番組	「流れ星をおいかけて」	平成25年7月1日～平成26年3月31日

ア 総入館者数及び開館日数

	観覧者数（予約及び一般投影）					ロビー 展示のみ 入館者	入館者 総数	開館 日数
	投影回数	大人	小中学生	幼児	観覧者計			
計	585回	2,667人	1,377人	3,488人	7,532人	1,712人	9,244人	247日

イ 団体予約学習投影（火～金曜日）

	投影 日数	投影 回数	市内	市外	観覧料		観覧者数			
					有料	免除	大人	小中学生	幼児	合計
計	40日	80回	19件	72件	17件	74件	493人	313人	2,661人	3,467人

ウ 一般投影（毎週水・木曜日各1回、土・日曜日及び特別臨時投影）

	投影 回数	観覧者数（予約及び一般投影）			
		大人	小中学生	幼児	合計
計	505回	2,174人	1,064人	827人	4,065人

(3) 特別企画

ア セタコンサート

日 時 平成25年8月10日（土） 午後4時～5時
 内 容 沖縄・奄美大島の楽器三線による生演奏と今夜の星空解説
 出 演 奄美民謡ひらまつ会
 入場者数 74人

イ クリスマスコンサート

日 時 平成25年12月21日（土） 午後4時～5時
 内 容 ピアノによる生演奏、唄、童話の朗読と当日の星空解説
 出 演 塚本音楽教室
 入場者数 58人

ウ 秋の特別投影

日 時 平成25年10月26日（土） 1回目 午後3時～4時、2回目 午後4時～5時
 講 師 日下 熊三さん
 内 容 秋の星空案内と講師自作のこぎつねチロンの創作物語とのコラボレーション
 申込者数 117人
 入場者数 1回目 57人、2回目 41人

エ プラネタリウム投影1万回記念式典と認定書授与

日 時 平成25年6月21日（金）午前11時30分～
 内 容 投影1万回を記念し、向陽幼稚園園児らに記念品及び認定書を贈呈

2 天体観望会関係

(1) 定例天体観望会

目 的 星空解説や星座等の観望を通して天体への関心を深めてもらうことを目的に開催
 開 催 日 毎月第2土曜日 午後7時～9時 定員40人
 開催回数 12回
 天体観測・星空解説ともに開催 8回
 星空解説のみ開催 4回（5月・7月・9月・2月）
 応募人数 692人（市内：395人、市外：297人）
 参加人数 391人（市内：195人、市外：196人）

(2) 特別天体観望会

ア スターウォッチング in 朝堂院

目 的 野外観望会を通して天体への関心を深めることを目的に開催
日 時 平成25年5月18日(土) 午後6時30分～8時30分
会 場 朝堂院公園(鶏冠井町山畑)
内 容 望遠鏡や双眼鏡を使い、月や惑星、春の星座等を観望
参加人数 120人

イ 昼の金星観望会

目 的 月と同様に満ち欠けする金星を観望することにより、宇宙への興味と科学に対する関心を深めることを目的に開催
日 時 1回目 平成25年9月4日(水)～8日(日)、2回目 12月4日(水)～8日(日)
午後1時～3時
会 場 天体観測室
内 容 反射望遠鏡・屈折望遠鏡等で観望
参加人数 1回目 14人、2回目 44人

ウ 中秋の名月観望会

目 的 中秋の名月を、望遠鏡や双眼鏡で自由に観望し、天体に関心を深めることを目的に開催
日 時 平成25年9月19日(木) 午後7時～8時
午後1時～3時
会 場 天体観測室及び星見台
内 容 反射望遠鏡・屈折望遠鏡等で観望
参加人数 102人

3 講演会関係

(1) 天文館開館20周年記念事業 記念講演会「彗星(ほうきぼし)と私たち」

日 時 平成25年7月6日(土) 午後1時30分～3時
会 場 天文館プラネタリウム室
内 容 配布資料やパソコン、プロジェクター等による映像を投影しながら「彗星(ほうきぼし)」について講演
講 師 向日市天文館名誉館長 京都産業大学 神山天文台台長 河北秀世さん
入場者数 80人

(2) 天文館開館20周年記念事業 記念講演会 「アイソン彗星がやってきた」

日 時 平成25年11月2日(土) 午後1時30分～3時
会 場 天文館プラネタリウム室
内 容 配布資料やパソコン、プロジェクター等による映像を投影しながらアイソン彗星について講演
講 師 アストロ・アカデミア
入場者数 43人

(3) 天文館活性化事業 一般向き天文講座3回シリーズ

ア	日	時	平成25年10月5日(土)	午後3時30分～5時
	会	場	向日市民会館第2会議室	
	内	容	「太陽系小天体の科学」	
	講	師	アストロ・アカデミア	
	入	場者数	16人	
イ	日	時	平成25年12月7日(土)	午後3時30分～5時
	会	場	天文館プラネタリウム室	
	内	容	「いろいろな恒星とその素顔」	
	講	師	アストロ・アカデミア	
	入	場者数	67人	
ウ	日	時	平成26年2月1日(土)	午後3時30分～5時
	会	場	向日市天文館 プラネタリウム室	
	内	容	「宇宙の過去、現在、未来」	
	講	師	アストロ・アカデミア	
	参	加者数	75人	

(4) 天文館活性化事業 夏休みこども天文実験講座

	日	時	平成25年7月24日(水)～26日(金)	午前10時～11時30分
	会	場	プラネタリウム室及び天文館ロビー	
	内	容	24日 「望遠鏡を作ろう」	
			25日 「月のクレーターを作ろう」	
			26日 「彗星核を作ろう」	
	講	師	アストロ・アカデミア	
	参	加対象	小学4年生～6年生	
			プラネタリウム室及び天文館ロビー	
	参	加人数	74人(各回定員30人)	

(5) 天文館活性化事業 冬休み子供向き天文講座2回シリーズ

ア	日	時	平成25年12月25日(水)	午前10時～11時30分
	会	場	天文館プラネタリウム室	
	内	容	「プラネタリウムを使って天王星と木星のお話」	
	講	師	アストロ・アカデミア	
	参	加者数	13人	
イ	日	時	平成25年12月26日(木)	午前10時～11時30分
	会	場	天文館プラネタリウム室	
	内	容	「プラネタリウムを使って銀河と宇宙のお話」	
	講	師	アストロ・アカデミア	
	参	加者数	16人	

4 天文教室関係

(1) 天文館活性化事業 こども天文教室

日 時	平成25年8月7日(水)～9日(金)	午前11時～12時
会 場	プラネタリウム室	
内 容	実際の夜空ではなかなか星座をたどることが難しいので、プラネタリウム室で満天の星空のもと、星座板を使いながら季節の星座を紹介	
講 師	向日市天文館	
参加対象	小学4年生以上とその保護者(子どものみ参加も可)	
参加人数	28人(各回定員10人)	

5 天文館開館20周年記念事業関係

(1) 記念講演会「彗星(ほうきぼし)と私たち」 (再掲)

(2) 一般投影番組ポスター展

日 時	平成25年7月3日(水)～9月29日(日)	
会 場	天文館1階ロビー	
内 容	向日市天文館が開館した平成5年夏から平成21年春までの一般投影番組全64本のプラネタリウム番組のポスターを展示(初公開)	

(3) プラネタリウムの無料投影

日 時	平成25年7月3日(水)～7月7日(日)の一般投影全11回	
内 容	各回先着80人に整理券を配布し、無料投影として開催	

(4) 「天体・宇宙への夢、YUME」絵画展の作品募集

応募期間	平成25年7月3日(水)～8月31日(土)	
応募作品数	25点	

(5) 「天体・宇宙への夢、YUME」絵画展の応募作品展示と投影会

展示期間	平成25年10月2日(水)～12月26日(木)	
展示場所	天文館1階ロビー内	
投影会	平成25年11月24日(日)午後3時30分～	
内 容	全応募作品を、プラネタリウム室の10メートルドームに拡大して投影	
参加人数	46人(作品応募者、その家族や知人、その他一般含む)	

(6) 向日市天文館開館20周年記念粗品プレゼント

内 容	平成25年7月3日(水)から来館者1,000人に絵はがきを贈呈	
-----	---------------------------------	--

6 向日市天文館有識者の会議を開催

第1回	平成25年6月15日(土)	午前10時～12時
第2回	平成25年10月19日(土)	午前10時～12時
第3回	平成26年2月22日(木)	午前10時～12時

7 1階ロビー照明をLED化(平成25年度主要事業)

10教育費 5保健体育費 1保健体育総務費

② スポーツ健康増進事業費（生涯学習課）

市民の健康の保持・増進とコミュニケーション形成に寄与するため、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ活動を行える生涯スポーツの普及、条件整備に努めた。

また、生涯スポーツを振興する上で、指導的役割を担うスポーツ推進委員の資質向上のため、研修機会の拡充に努めた。

（主な事業内容）

- 第32回市民総合体育大会（5月26日～6月30日）
- スポーツ交流フェア（10月14日）
- D oスポーツ i n向日（11月17日）
- 地区社会体育振興会等への支援
- ワイワイスポーツクラブへの指導

1 スポーツ推進委員 12人（男6人、女6人） ※平成25年4月1日現在

- (1) スポーツ推進委員協議会定例会を毎月第1木曜日に開催した。
- (2) スポーツ推進委員協議会において毎月1回実技研修を開催した。
- (3) 主に教育委員会、スポーツ文化協会、ワイワイスポーツクラブなどが実施する事業に対して運営協力を行った。
- (4) 乙訓スポーツ推進委員連絡協議会研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
総 会	5月30日	長岡京市中央生涯学習センター	10人
評 議 員 会	5月23日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	9月18日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	1月29日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	3月20日	京都府乙訓総合庁舎	3人
第1回乙訓スポーツ指導者研修会	7月26日	西山公園体育館	10人
第2回乙訓スポーツ指導者研修会	12月11日	大山崎町体育館	10人
乙訓地区スポーツ推進委員交流会	2月27日	市民体育館	11人

(5) その他研修会等

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
第46回京都府スポーツ推進委員研究大会	6月30日	同志社大学京田辺キャンパス	11人
近畿スポーツ推進委員研究協議会	2月7日、8日	近江八幡市文化会館 他	9人
第54回全国スポーツ推進委員研究協議会	11月21日、22日	和歌山ビッグホエール	4人

2 学校体育施設及び向日町競輪場スポーツ施設の開放

(1) 小学校体育施設

(単位：回)

学校名	運動場開放状況						体育館（大体育室）開放状況					
	開放回数		使用回数		稼働率		開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
向陽小学校	171	335	103	129	60.2%	38.5%	168	321	131	281	78.0%	87.5%
第2向陽小学校	165	291	127	46	77.0%	15.8%	180	311	98	273	54.4%	87.8%
第3向陽小学校	195	311	86	47	44.1%	15.1%	174	318	122	299	70.1%	94.0%
第4向陽小学校	179	314	160	148	89.4%	47.1%	163	316	77	285	47.2%	90.2%
第5向陽小学校	177	339	125	92	70.6%	27.1%	167	319	36	246	21.6%	77.1%
第6向陽小学校	183	321	172	227	94.0%	70.7%	173	317	127	262	73.4%	82.6%
合計	1,070	1,911	773	689	72.2%	36.1%	1,025	1,902	591	1,646	57.7%	86.5%

(2) 中学校体育施設

(単位：回)

学校名	体育館（大体育室）開放状況		
	開放回数	使用回数	稼働率
	夜間	夜間	夜間
勝山中学校	272	199	73.2%
西ノ岡中学校	133	94	70.7%
寺戸中学校	217	210	96.8%
合計	622	503	80.9%

(3) 向日町競輪場スポーツ施設

(単位：回)

施設名	開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
多目的運動広場（Aグラウンド）	30	338	2	45	6.7%	13.3%
テニスコート（2面）	749		313		41.8%	
卓球場	828		381		46.0%	
陸上トラック	391		5		1.3%	

(4) 小学校グラウンド夜間照明殺虫灯修繕

ア 修繕箇所 第2向陽小学校、第5向陽小学校

イ 修繕料 1,596,000円

(5) 向日町競輪場グラウンド夜間照明保守点検

ア 点検箇所 多目的運動広場（Aグラウンド）

イ 点検料 196,728円

3 スポーツ振興事業

(1) 第32回市民総合体育大会の開催（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

種 目	参加チーム・参加者数	期 日
ソフトボール 男子	8チーム 132人	5月26日
ソフトボール 女子	2チーム 29人	6月9日
テニス	36人	5月26日
ボウリング 団体の部	14チーム 33人	6月9日
ボウリング 個人の部	9人	
バドミントン ダブルス	76人	6月16日
バレーボール 男子	3チーム 61人	6月17日
バレーボール 女子	5チーム 25人	
ゲートボール	6チーム 32人	6月23日
卓球 団体の戦	9チーム 24人	6月23日
卓球 個人の戦	64人	
ソフトテニス	96人	6月27日
合 計	617人	

(2) スポーツ交流フェア（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

期 日 平成25年10月14日（月・祝）

会 場 市民体育館

《参加チーム数等》

種 目 名	参加チーム（人）	種 目 名	参加者
交 流 試 合		軽スポーツ体験コーナー、無料開放コーナー	
カローリング（地区）	13チーム（44人）		
カローリング（チーム）	8チーム（24人）	スリータッチボール、輪投げ、フリースロー	（129人）
ソフトバレー（地区）	11チーム（60人）	バドミントン、卓球開放	（158人）
ソフトバレー（トリム）	9チーム（40人）		
合 計			455人

(3) スポーツ指導者研修会

研修会名	実施日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
「ジェンダーとスポーツ」	2月15日（土）	市民会館	市内スポーツ団体指導者	21人	びわこ成蹊スポーツ大学 佐藤 馨さん

4 体育団体育成事業

(1) 少年スポーツ団体への事業補助

団 体 名	種 目 名	団 員 数
向日市スポーツ少年団本部 （野球1、サッカー1、バレー1、剣道1、少林寺1）		5 団体
向日市野球スポーツ少年団	野 球	37 人
向日ブルージャガーズ	野 球	21 人
向日ポパイズ	野 球	25 人
向陽オックス	野 球	15 人
向日ファイターズ	野 球	25 人
向日ウィングス少年野球クラブ	野 球	47 人
向日市ジュニアバドミントン教室	バドミントン	52 人
向日市柔道教室	柔 道	35 人
日本正武館合気道	合 気 道	18 人
少林寺拳法京都向日町スポーツ少年団	少 林 寺 拳 法	47 人
育成事業補助金額	356,500 円	合 計
		322 人

(2) (公財) 向日市スポーツ文化協会への運営・事業補助

○運営・事業補助金 総額 51,795,000円
 (内訳) 運営補助金 36,261,000円
 事業補助金 15,534,000円

○加盟団体 地区体育振興会 11地区
 種目団体 10団体

5 各種大会等選手派遣事業

京都府下(市町村対抗)に選手を派遣した。 延べ284人

大会名	期 日	市 町 村 対 抗 競 技	市町村交流種目
第36回京都府民総合体育大会	平成25年9月) 平成26年2月	バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ゲートボール、陸上競技、グラウンドゴルフ、駅伝競走、ゴルフ	ソフトバレーボール 卓球バレー

6 フレンドシップ協定関連事業

研修会名	実 施 日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
向日市健康・アカデミー (健康・体力づくり教室)	11月9日(土)	第4向陽 小学校	市内在住の小学生 生とその保護者	小学生 34人 保護者 30人	京都サンガF.C. ホームタウンアカデミー

7 軽スポーツフェア

Doスポーツin向日(向日市まつり)

- (1) 日時 11月17日(日) 午前10時~午後3時
- (2) 会場 向日町競輪場走路内グラウンド
- (3) 内容 ショートテニス、グラウンドゴルフ、輪投げ、ドッジビー、ティボールバッティング
- (4) 指導者 スポーツ推進委員
- (5) 参加者数 523人

8 市民体育館管理運営

平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成23年度から5年間の指定管理者に(公財)向日市スポーツ文化協会を指定している。

指定管理料 28,700,000円

- (1) 体育室稼働率 88.2%
- (2) トレーニング室利用状況 18,514人(開室日数348日)
- (3) 満足度の調査

9 生涯スポーツ振興事業

教育委員会のスポーツ事業の一部を(公財)向日市スポーツ文化協会に委託した。

委託料 710,690円